



2/14(日) 漆喰を活用したシーサーづくりと壁面の修景!

景観まちづくり活動の一環として、仲間自治会がじまる会では、漆喰を活用したシーサーづくりと公民館の大きな壁面の塗装を行いました。参加した子ども達は、初めて見る漆喰の感触とにおい「ゾウのうんこみた〜い!」と笑いながら楽しく取り組み、個性あふれる面シーサーが完成しました。

大人達は、左官職人の方に塗り方を教わりながら、壁面の下地塗りと大きなシーサーづくりを行いました。がじまる会は、引続き活動に取り組み、子ども達がつくった面シーサーなどは、漆喰で修景された壁面に飾られる予定です。



2/14(日) 浦添城跡発掘現場見学会で失われた歴史現れる

浦添城跡発掘調査現場の見学会では、現場公開と並行して、浦添城跡の発掘調査で出土した遺物の展示や、発掘現場の3D画像をコンピュータ内で動かす体験、浦添城跡の散策も行われました。見学会には約100人の市民が参加し、担当職員やうらおそい歴史ガイドから発掘現場や城跡内の説明を受けました。

参加者からは、「破壊されてしまった浦添城跡のなかで城壁の切石が6個残っていて驚いた」や「浦添と首里の歴史がわかって面白かった」などの感想を述べました。



1/19(火) 先輩たちからたくさんの意見を聞けました。

学院生のこれまでの豊かな人生経験から生まれた意見や体験などを発表しあい、今後のより充実した生きがいづくりに寄与することを目的に、浦添市てだこ学園大学院「意見発表会」が中央公民館で開催されました。

1年、2年次生それぞれ5人の学院生が、てだこ学園での学びやボランティア活動、健康づくり、これまでの人生をふり返っての思い、また家族や友人とのふれ合いを通しての意見などを、はつらつと若々しく夢いっぱい発表し、出席した多くの参加者から喝采と好評を博しました。



2/13(土) まなびフェスタ2016「ミニコンサート」開催!

図書館1階のフロアで、ヴァイオリン&ギターユニット「Comfort(コンフォート)」によるミニコンサートが行われました。

『アシタカせつ記(もののけ姫)』、『ばんがむり(宮古島民謡)』他を演奏し、普段は話し声が響いてしまうくらい静かな図書館ですが、美しい生演奏を間近で聞くまたとない機会に、利用者みなさんも(図書館の本たちも!)うっとりとしき入って至福の時間を過ごしました。



1/27(水) みんなで食べる給食はおいしいね!

全国学校給食週間に合わせて、市長や教育委員長、関係職員が牧港小学校を訪問し、児童たちと学校給食を会食しました。

市では、学校給食週間期間中、沖縄の「郷土料理」を献立に取り入れており、会食当日の献立はクワジュシーに魚のシークワサソースかけなどが並びました。

大勢の大人たちを前にはじめ緊張していた児童たちでしたが、おいしそうな給食を目の前になると会話も弾み、笑顔で楽しい会食となりました。



1/17(日) 奏でる人と聴く人がともに楽しむ音楽祭が開演

プロの実演家と市民が音楽を奏でることにより交流と演奏技術の向上を目的とした、浦添市民音楽祭がてだこホールで行われました。

会場を訪れた約600人の観客が、琉球交響楽団による、トロンボーン四重奏やプロ奏者と浦添市内の学生(吹奏楽部)、一般(浦添市吹奏楽団)で構成された音楽祭記念吹奏楽団による、ウインドアンサンブルなどの演奏、音色を楽しみました。



2/1(月) 歴史にふれる館オープン!

オープン当日は来賓や関係者など約60人が参加してのセレモニーを実施しました。主催者の教育長が挨拶をした後、護得久 朝文氏(市議会文教委員長)・多喜 和彦氏(教育委員長)・安次富 勇氏(うらおそい歴史ガイド友の会理事長)によるテープカットで開館を祝いました。

セレモニー後は、参加者全員で展示室と収蔵室を見学し、物言わぬ発掘出土遺物の声に耳を傾けながら歴史へのロマンを抱いたり、有意義な時間を過ごしていました。